

令和8年度 国立夜須高原青少年自然の家 教育事業 ～ボランティア養成事業～  
「ボランティア応援講座」

報告書

- 1 趣 旨 青少年教育施設における今日的な役割を理解し、青少年の体験活動を支援するボランティア活動に必要な基本的な知識や技能を習得する。また、研修を通して参加者同士の交流を図り、主体的・継続的に社会参画を目指すボランティアの育成をねらう。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
- 3 共 催 福岡県立社会教育総合センター・福岡県立英彦山青年の家・  
福岡県立少年自然の家「玄海の家」
- 4 後 援 福岡県教育委員会
- 5 期 間 令和8年6月6日（土）～7日（日） 1泊2日
- 6 会 場 国立夜須高原青少年自然の家  
〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103
- 7 対 象 ボランティア活動に興味のある高校生以上の方 40名程度
- 8 参加者 8名
- 9 日 程 6月6日（土）  
研修① 「仲間づくり」  
研修② 「青少年教育の理解」  
研修③ 「青少年教育施設の現状と運営」  
研修④ 「ボランティア活動の技術（活動中の安全）」  
研修⑤ 「ボランティア活動の技術（野外炊飯）」  
研修⑥ 「ボランティア活動の意義」  
  
6月7日（日）  
研修⑦ 「ボランティア活動の技術（野外炊飯）」  
研修⑧ 「安全管理（普通救命講習）」  
講師 甘木・朝倉消防本部隊員  
研修⑨ 「青少年教育施設におけるボランティア活動」  
説明 福岡県立社会教育総合センター社会教育振興室体験活動推進班班長 安庭正宏氏  
福岡県立少年自然の家「玄海の家」指導主事 吉村 綾友氏  
福岡県立英彦山青年の家の主任指導主事 瀬之口紘史氏  
研修⑩ 「法人ボランティア登録制度とは」

## 10 活動の実際



【仲間づくり】



【青少年教育の理解】



【ボランティア活動の技術】  
(活動中の安全・KYTトレーニング)



【ボランティア活動の技術】  
(カレーづくり)



【安全管理】  
(普通救命講習)



【法人ボランティア登録制度】

## 11 感想

- ボランティアについての大切さや、自分たちで考えて動く行動力や、協調性が大切だということなどを沢山知れてよかった。
- 法人ボランティアについての知識を得て、実際に体験することができてすごく良かった。
- 各活動全てが講義ばかりだけではなく、ちょっとした豆知識や雑談などがあって飽きることなく、最後まで楽しむことができた。
- 違う場所でいろんな方々と出会い、年齢関係なく仲良くなれて楽しく活動することができた。
- 大学や普段ではできないような幅広い体験ができてとても楽しかった！

## 12 成果

- 参加者のうち8名全員がボランティア登録を行い、新規のボランティア確保ができた。今後、教育事業等での活動機会の提供に努めたい。
- 先輩ボランティアに野外炊飯のサポートや法人ボランティアの意義について体験談を話す機会を持ったことで、参加者が気軽に法人ボランティアについて質問したりする場面が見られた。先輩ボランティア・参加者ともにボランティア活動に対する意欲を喚起することができると思われるため、次年度以降も同様のサイクルを継続したい。

## 13 課題

- 応募者数が少なく定員割れをとっているため、実施時期の見直しや各大学・高等学校への広報を継続して行うなど、さらなる参加者確保のための方策を検討したい。